給　水　工　事　の　手　引　き

令和７年　４月　１日

知　立　市　水　道　事　業

給　水　工　事　の　手　引　き

平成２９年　４月　１日

知　立　市　水　道　事　業

目　　次

１．給水工事の流れ　…………………………………………………… 2

２．提出書類　………………………………………………………… 3

３．工事申請　………………………………………………………… 4

４．工事着手　………………………………………………………… 5

５．工事写真　………………………………………………………… 5

６．舗装復旧　………………………………………………………… 6

７．完了　……………………………………………………………… 7

８．メーター出庫　…………………………………………………… 7

９．配水管工事を伴う給水工事　…………………………………… 7

１０．給排水オンライン申請システム　…………………………… 8

１１．給水工事（公道分）指定材料一覧表　……………………… 9

【添付資料】

・ 申請書類記載例

目　　次

１．給水工事の流れ　…………………………………………………… 2

２．提出書類　………………………………………………………… 3

３．工事申請　………………………………………………………… 4

４．工事着手　………………………………………………………… 5

５．工事写真　………………………………………………………… 5

６．舗装復旧　………………………………………………………… 6

７．完了　……………………………………………………………… 7

８．メーター出庫　…………………………………………………… 7

９．配水管工事を伴う給水工事　…………………………………… 8

１０．給水工事（公道分）指定材料一覧表　……………………… 9

【添付資料】

・ 申請書類記載例

２．提出書類

(1)申請時提出書類　（許可後返却）

【必ず提出する書類】

- □　給水装置工事申込書〔様式支給〕
- □　給水台帳〔様式支給〕
- □　給水工事野帳〔様式支給〕
- □　位置図

【必要に応じて提出する書類】

- □　臨時給水申請書
- □　誓約書（※１）
- □　給水申込み事前協議書（市役所提出用）（※２）
- □　支管分岐撤去申請書
- □　所有権移転届（既設給水装置所有権があり、所有者が変更されていない場合）
- □　使用材料調書（給水工事指定材料一覧表に記載のない材料を使用する場合）
- □　３階直結直圧給水承諾書（３階直結直圧方式の場合）
- □　直結増圧給水承諾書（直結増圧方式の場合）

※１　**誓約書**…下記のような理由により基準に反してしまう給水工事については、各種誓約書に申請者の署名捺印をもらうこと。

・基準に定められたメーター口径毎の給水栓数を超える場合。
・基準に定められたメーター口径毎の給水管布設延長距離を超える場合。
・店舗、事務所等について受水槽の設置ができない場合。
・その他水道事業者が必要と認める場合。

※２　**給水申込み事前協議書**…下記のような給水工事については申請の前に給水申込み事前協議書を提出し、事前協議を行なう。協議内容をまとめた事前協議書（市役所提出用１部、申込者控１部）を発行するので申請者に承諾印をもらい申請時に提出すること。

・配水管布設（布設替）を計画する場合
・集合住宅を計画する場合
・大口径（４０mm以上）の給水装置工事を計画する場合
・直結増圧式給水を計画する場合
・受水槽式給水を計画する場合
・店舗・テナントビル等専用住宅以外の施設を計画する場合
・その他水道事業者が必要と認める場合

２．提出書類

(1)申請時提出書類　（許可後返却）

【必ず提出する書類】

- □　給水装置工事申込書〔様式支給〕
- □　給水台帳〔様式支給〕
- □　給水工事野帳
- □　位置図

【必要に応じて提出する書類】

- □　臨時給水申請書
- □　誓約書（※１）
- □　給水申込み事前協議書（市役所提出用）（※２）
- □　支管分岐撤去申請書
- □　所有権移転届（既設給水装置所有権があり、所有者が変更されていない場合）
- □　使用材料調書（給水工事指定材料一覧表に記載のない材料を使用する場合）
- □　３階直結直圧給水承諾書（３階直結直圧方式の場合）
- □　直結増圧給水承諾書（直結増圧方式の場合）

※１　**誓約書**…下記のような理由により基準に反してしまう給水工事については、各種誓約書に申請者の署名捺印をもらうこと。

・基準に定められたメーター口径毎の給水栓数を超える場合。
・基準に定められたメーター口径毎の給水管布設延長距離を超える場合。
・店舗、事務所等について受水槽の設置ができない場合。
・その他水道事業者が必要と認める場合。

※２　**給水申込み事前協議書**…下記のような給水工事については申請の前に給水申込み事前協議書を提出し、事前協議を行なう。協議内容をまとめた事前協議書（市役所提出用１部、申込者控１部）を発行するので申請者に承諾印をもらい申請時に提出すること。

・配水管布設（布設替）を計画する場合
・集合住宅を計画する場合
・大口径（４０mm以上）の給水装置工事を計画する場合
・直結増圧式給水を計画する場合
・受水槽式給水を計画する場合
・店舗・テナントビル等専用住宅以外の施設を計画する場合
・その他水道事業者が必要と認める場合

⑷配水管分岐工

①サドル分水栓(もしくは割丁字管)取付完了写真

②穿孔片

⑸給水管布設工

⑹止水栓設置工

第一止水栓が丙止水栓の場合にはメーター廻りの状況を撮影すること。

乙止水栓・ゲートバルブを設置する場合は止水栓の設置状況に加えて止水栓 BOX の設置状況も撮影すること。

⑺管上１０cm 砂埋め戻し

⑻埋設テープ設置（管上３０ｃｍ）・マーカー設置（土被り４０ｃｍ以内）

⑼路盤工

１層毎に転圧状況をスタッフを立てて高さを明示すること。

⑽仮復旧完了後全景写真

着手前と同一背景、構図であるようにする。

⑾保安設備

施工中において、交通整理員の配置、標識などの配置がわかるように撮影すること。

⑿舗装本復旧工（国、県道など市役所が道路占用申請をする場合）

①着手前

②不陸整正・乳剤散布状況

③舗設状況および完了

（国・県道等の市役所が道路占用申請をする場合は、工事写真（１部）を別途に提出すること。）

６．舗装復旧

公道工事完了後、知立市の管理する道路については舗装本復旧工を指定工事店が責任を持って行うこと。給水装置工事申請の公道工事は、仮復旧の状態で完了を受理する。ただし、国・県道等については舗装本復旧工の状態で完了を受理する。
公道を掘削して工事を行う場合は、必ず舗装本復旧工まで行うこと。なお、舗装復旧工は、舗装が下がることのないよう自然転圧の期間を考慮して施工し、舗装厚や本復旧範囲については、道路管理者から発行された道路占用許可証に従い施工すること。

背景を取り入れ、ポールを置くなどして引き込み箇所を明示すること。

⑵材料検収

⑶土工

①舗装版取り壊し工…既設舗装厚を明示すること。

②掘削完了

⑷配水管分岐工

①サドル分水栓(もしくは割丁字管)取付完了写真

②穿孔片

⑸給水管布設工

⑹止水栓設置工

第一止水栓が丙止水栓の場合にはメーター廻りの状況を撮影すること。

乙止水栓・ゲートバルブを設置する場合は止水栓の設置状況に加えて止水栓 BOX の設置状況も撮影すること。

⑺管上３０cm 砂埋め戻し

⑻埋設テープ設置・マーカー設置（土被り６０ｃｍ以内）

⑼路盤工

１層毎に転圧状況をスタッフを立てて高さを明示すること。

⑽仮復旧完了後全景写真

着手前と同一背景、構図であるようにする。

⑾保安設備

施工中において、交通整理員の配置、標識などの配置がわかるように撮影すること。

⑿舗装本復旧工（国、県道など市役所が道路占用申請をする場合）

①着手前

②不陸整正・乳剤散布状況

③舗設状況および完了

（国・県道等の市役所が道路占用申請をする場合は、工事写真（１部）を別途に提出すること。）

６．舗装復旧

公道工事完了後、知立市の管理する道路については舗装本復旧工を指定工事店が責任を持って行うこと。その場合の公道工事は、仮復旧の状態で完了とする。ただし、国・県道等については舗装本復旧工を含めて公道工事完了とする。

なお、舗装復旧工は、舗装が下がることのないよう自然転圧の期間を考慮して施工し、舗装厚などの条件については、道路管理者の指示に従い施工すること。

９．配水管（本管）工事を伴う給水工事

給水工事において、公道または開発区域道路で配水管布設または布設替が必要な場合は、「発注依頼工事」または「承認受託工事」により実施する。

(1) 発注依頼工事

市に発注を依頼する「発注依頼工事」は、申請者負担により配水管布設工事をおこなう。ただし、一般家庭用の申請で配水管延長が必要な場合は、対象となる申請地において、当該申請者の２世代前の親族から継続して所有している場合は、２０メートルまで市の補助を受けることができる。詳細は、『知立市水道工事負担金徴収要綱』による。

(2) 承認受託工事

「承認受託工事」は、開発行為等において公道または開発区域道路に配管口径１５０ミリメートル以下の配水管を布設する場合に申請者負担により配水管布設工事をおこなう。ただし、その場合の施工業者は、知立市において配水管布設の実績を有する業者とする。詳細は、『知立市水道承認受託工事取扱要綱』による。

１０．給排水オンライン申請システム

給排水オンライン申請システムにより申請を利用する場合は、給水工事オンライン申請システム マニュアルに基づいて行うこと。

導 入 目 的： 給水装置工事及び排水設備工事のインターネットによる申請サービスの常時提供により住民サービスの向上を図るためのシステムを構築するもの。

運用開始日： 令和７年４月１日から

９．配水管（本管）工事を伴う給水工事

給水工事において、公道または開発区域道路で配水管布設または布設替が必要な場合は、「発注依頼工事」または「承認受託工事」により実施する。

(1) 発注依頼工事

市に発注を依頼する「発注依頼工事」は、申請者負担により配水管布設工事をおこなう。ただし、一般家庭用の申請で配水管延長が必要な場合は、一定の条件のもと、２０メートルまで市の補助を受けることができる。詳細は、『知立市水道工事負担金徴収要綱』による。

(2) 承認受託工事

「承認受託工事」は、開発行為等において公道または開発区域道路に配水管口径７５ミリメートル以下で、かつ、配水管延長１００メートル以下の配水管を布設する場合に申請者負担により配水管布設工事をおこなう。ただし、その場合の施工業者は、知立市において配水管布設の実績を有する業者とする。詳細は、『知立市水道承認受託工事取扱要綱』による。

１１．給水工事（公道分）指定材料一覧表

分　類	材料名	形　状	口径・寸法	メーカー名	摘　要
給水管	PEP 管		φ20～50	イノアック 積水化学 ｸﾎﾞﾀｹﾐｯｸｽ	JIS　K6762
分水材料	サドル分水栓	VP 用	φ40～150 ×φ20～50	前田バルブ 前澤給装 日邦バルブ タブチ	JWWA　B117
	サドル分水栓	DIP 用	φ75～350 ×φ20～50	前田バルブ 前澤給装 日邦バルブ タブチ	JWWA　B117
	サドル分水栓	HPPE 用	φ50～150 ×φ20～50	前田バルブ 前澤給装 日邦バルブ タブチ	JWWA　B117
	不断水割丁字管	全周パッキン	φ50～350 ×φ40～50	大成機工 コスモ工機	(TY-105SS) (STCPNP)
継手類	ロングベンド		φ20～25	前田バルブ 前澤給装 タブチ	JWWA　B116
	PG ユニオン		φ20～50	前田バルブ タブチ	JWWA　B116
	PV ユニオン		φ20～50	前田バルブ	JWWA　B116
止水栓	丙止水栓	開閉防止式 ツインバルブ	φ13～25	前田バルブ 前澤給装	(MV-TAYB)
	乙止水栓		φ13～25	前田バルブ 前澤給装 タブチ	(MV-JB)
	ゲートバルブ	ソフトシール	φ40～50	前田バルブ タブチ 前澤給装	(MV-SBC-F) (STGBM-W)
	止水栓筐	φ20～25 用	φ75	幡豆工業 前澤化成 アロン化成	
	止水栓筐	φ40～50 用	φ200	日之出水道	
その他	埋設シート	二重折込	W=150	サンエス護謨	
	埋設管標示シート		50mm×20m	サンエス護謨	
	埋設マーカー			フジテコム	(MK-1W)
	メーターBOX	FRP 製		前澤化成 アロン化成 日之出水道機器 ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ	

１０．給水工事（公道分）指定材料一覧表

分　類	材料名	形　状	口径・寸法	メーカー名	摘　要
給水管	PEP 管		φ20～50	イノアック 積水化学 クボタケミックス	JIS　K6762
分水材料	サドル分水栓	VP 用	φ40～150 ×φ20～25	前田バルブ 前澤給装 日邦バルブ	JWWA　B117
	サドル分水栓	DIP 用	φ75～350 ×φ20～25	前田バルブ 前澤給装 日邦バルブ	JWWA　B117
	サドル分水栓	HPPE 用	φ50～150 ×φ20～25	前田バルブ 前澤給装 日邦バルブ	JWWA　B117
	不断水割丁字管	全周パッキン	φ50～350 ×φ40～50	大成機工 コスモ工機	(TY-105SS) (STCPNP)
継手類	ロングベント		φ20～25	前田バルブ 前澤給装	JWWA　B116
	PG ユニオン		φ20～50	前田バルブ	JWWA　B116
	PV ユニオン		φ20～50	前田バルブ	JWWA　B116
止水栓	丙止水栓	開閉防止式 ツインバルブ	φ13～25	前田バルブ	(MV-TAYB)
	乙止水栓		φ13～25	前田バルブ 前澤給装	(MV-JB)
	ゲートバルブ	ソフトシール	φ40～50	前田バルブ タブチ 前澤給装	(MV-SBC-F) (STGBM-W)
	止水栓筐	φ20～25 用	φ75	三国ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ 幡豆工業 前澤化成	
	止水栓筐	φ40～50 用	φ200	日之出水道	
その他	埋設シート	二重折込	W=150	サンエス護謨	
	埋設マーカー			フジテコム	(MK-1W)
	メーターBOX	FRP 製		前澤化成 三国ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	
	メーターBOX	鋳鉄製		前澤化成	
	分水栓キャップ		φ13～25	前田バルブ 前澤給装 日邦バルブ	
	コートプラグ		φ40～75	日立金属	
	MC ユニオン		φ13～50	前澤化成	

※上記記載材料以外の材料を使用する場合は、「使用材料調書」を提出すること。

分　類	材料名	形　状	口径・寸法	メーカー名	摘　要
	メーターBOX	鋳鉄製		前澤化成 ㈱ダイモン ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ	
	メーターユニット	開閉防止式 ﾎﾞｰﾙ型止水栓	φ13～20	前澤給装 タブチ	
	複式ﾒｰﾀｰ BOX	開閉防止式ﾂｲﾝ ﾊﾞﾙﾌﾞ 2～4 連	φ13～20	タブチ	
	分水栓キャップ		φ13～50	前田バルブ 前澤給装 日邦バルブ タブチ	
	コートプラグ		φ40～75	日立金属	
	MC ユニオン		φ13～50	前澤化成	
	SKX		φ13～50	川西水道機器	
	補修バンド	PE・VP・GP	φ13～25	タブチ	
	埋設管標示ﾋﾟﾝ			サンエス護謨 石井マーク	
	密着コア			タブチ 前澤給装	

※上記記載材料以外の材料を使用する場合は、「使用材料調書」を提出すること。

【添付資料】

申請書類記入例

【添付資料】

申請書類記載例

課長		係長		担当	

令和 7 年 4 月 1 日

知立市水道事業　様

住　　所　**知立市昭和１丁目１**

届出者名　**㈱　昭　和　設　備**　㊞

給水申込み事前協議書

令和　7 年　2 月　20 日下記のとおり給水申込みの依頼がありましたが、
本件については通常の給水と異なりますので指示を願います。

記

1. 給水申込み希望者の

現住所　**知立市広見３丁目１番地**

給水装置場所　**知立市広見３丁目３番地**

氏名　**知　立　太　郎**

電話番号　**０５６６－８３－１１１１**

分岐予定口径　**φ２０mm**

給水希望年月日　**令和　7 年　6 月 15 日**

2. 付近の給水希望者　有　無（○印）　関係者　　人

3. 概要図　別添のとおり（**※位置図、平面図、配管図等を添付**）

4. その他

水道部記事　　担当者　　㊞

１．本人との打ち合わせ予定年月日　令和　　年　　月　　日　　時

２．その他

部長		課長		係長		担当	

平成 ２９ 年 ３ 月 １ 日

知立市水道事業　様

住　　所　**知立市昭和１丁目１**

届出者名　**㈱　昭　和　設　備**　㊞

給水申込み事前協議書

平成２９年　２月　２０日下記のとおり給水申込みの依頼がありましたが、
本件については通常の給水と異なりますので指示を願います。

記

1. 給水申込み希望者の

現住所　**知立市広見３丁目１番地**

給水装置場所　**知立市広見３丁目３番地**

氏名　**知　立　太　郎**

電話番号　**０５６６－８３－１１１１**

分岐予定口径　**φ２０mm**

給水希望年月日　**平成２９年７月１日**

2. 付近の給水希望者　有　無（○印）　関係者　　人

3. 概要図　別添のとおり（**※位置図、平面図、配管図等を添付**）

4. その他

水道部記事　　担当者　　㊞

１．本人との打ち合わせ予定年月日　平成　　年　　月　　日　　時

２．その他

＜売買の場合＞

課長		係長		受付		データ	

給水装置所有権移転届

令和〇〇年　△△月　◇◇日

知立市水道事業　様

住　　所　　知立市広見3丁目1番地
ふりがな　　ちりゅう　いちろう
氏　　名　　知立　一郎

下記のとおり給水装置の所有権を移転しました。

記

需要家番号			
給水装置の設置場所		知立市　広見3丁目1　番地	
※ 給水装置の(水栓)番号		第　　号	
所有者	移転前	ふりがな　へきかい　たろう 氏　名　碧海　太郎	印 ※
	移転後	ふりがな　ちりゅう　いちろう 氏　名　知立　一郎	印
移転年月日		令和〇〇年　△△月　◇◇日	
移転理由		売買	
摘要			

備考　1　※印の欄は、記入しないでください。

2　移転した日から３日以内に届け出てください。

※前所有者の押印が無い場合は、土地の登記簿謄本や売買契約書の写しを添付すること。

＜売買の場合＞

課長		係長		受付		データ	

給水装置所有権移転届

平成　２９　年　４　月　１　日

知立市水道事業　様

住　　所　　知立市広見３丁目１番地
ふりがな　　ちりゅう　いちろう　*1
氏　　名　　知立　一郎　印

下記のとおり給水装置の所有権を移転しました。

需要家番号			
給水装置の設置場所		知立市　広見　町　３丁目１　番地	
※ 給水装置の(水栓)番号		第　　号	
所有者	移転前	ふりがな　ちりゅう　たろう 氏　名　知立　太郎	印 *2
	移転後	ふりがな　ちりゅう　いちろう 氏　名　知立　一郎	印
移転年月日		平成　２９　年　３　月　３０　日	
移転理由		売　買	
摘要			

備考　1　※印の欄は、記入しないでください。

2　移転した日から３日以内に届け出てください。

*1　原則、変更後の方が記入すること。

*2　前所有者の押印がない場合は、土地の登記簿謄本等の写しを添付すること。

<相続の場合>

課長		係長		受付		データ	

給水装置所有権移転届

平成 ２９ 年 ４ 月 １ 日

知立市水道事業　様

住　所　知立市広見３丁目１番地

ふりがな　ちりゅう　いちろう　*1

氏　名　知立　一郎　㊞

下記のとおり給水装置の所有権を移転しました。

需要家番号		
給水装置の設置場所		知立市　広見　町　３丁目１　番地
※ 給水装置の(水栓)番号		第　号
所有者	移転前	ふりがな　ちりゅう　たろう 氏　名　知立　太郎　㊞ *2
	移転後	ふりがな　ちりゅう　いちろう 氏　名　知立　一郎　㊞
移転年月日		平成 ２９ 年 ３ 月 ３０ 日
移転理由		相　続
摘要		

備考　1　※印の欄は、記入しないでください。

2　移転した日から３日以内に届け出てください。

*1　原則、変更後の方が記入すること。

*2　前所有者が亡くなっている場合は、前所有者の押印なしでよい。

<相続の場合>

課長		係長		受付		データ	

給水装置所有権移転届

令和〇〇年　△△月　◇◇日

知立市水道事業　様

住　所　知立市広見3丁目1番地

ふりがな　ちりゅう　いちろう

氏　名　知立　一郎

下記のとおり給水装置の所有権を移転しました。

記

需要家番号		
給水装置の設置場所		知立市　広見3丁目1　番地
※ 給水装置の(水栓)番号		第　号
所有者	移転前	ふりがな　ちりゅう　たろう 氏　名　知立　太郎　㊞ ※
	移転後	ふりがな　ちりゅう　いちろう 氏　名　知立　一郎　㊞
移転年月日		令和〇〇年　△△月　◇◇日
移転理由		相続
摘要		

備考　1　※印の欄は、記入しないでください。

2　移転した日から３日以内に届け出てください。

※前所有者が亡くなっている場合は、前所有者の押印無しでよい。

部長	課長	係長	設計審査

許可番号

整理番号 112　許可番号 20 − 56 ※市記入

永年保存	給水台帳	水栓番号	第 12345 号
第 号（より）分岐			

装置場所	知立市 広見 3丁目 3 番地	変更	知立市	番地
所有者	知 立 太 郎	住所	知立市 広見 3丁目 1	番地
代理人	※申請者が市外の場合は記入すること	住所	知立市	番地
保管者		住所	知立市	番地

種目／区別	設計 形状寸法	設計 員数	設計 メーカー名	変更 形状寸法	変更 員数	変更 メーカー名
給水管	PEPφ20	3.8	イノアック			
分水材料	サドル VPφ75×20	1	前田バルブ			
						変
継手類	ﾛﾝｸﾞﾍﾞﾝﾄ φ20	1	前田バルブ			
						更
止水栓	丙止水栓 φ20	1	前田バルブ			な
その他	埋設シート	3.0	サンエスゴム			し
	マーカー	1	フジテコム			
	メーターBox	1	前澤化成			

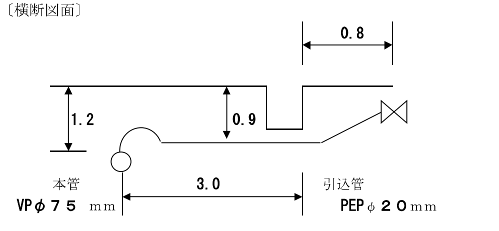
使用者	知 立 太 郎	職業	会社員
申込	R.7 年 3月 21日	用途	㊎家 営. 湯. 官. 工. 臨.
設計	R.7 年 3月 24日		
設計審査	R.7 年 4月 1日	人口	4
納付	R.7 年 4月 13日		
屋内工事着手	R.7 年 4月 15日	支栓	9
屋内工事完了	R.7 年 6月 16日		
公道工事着手	R.7 年 5月 29日	浴槽	
公道工事完了	R.7 年 5月 29日		
完了検査	年 月 日	浄化槽	
	年 月 日		

各項目の日付を記入。

舗装道路修理	3.0 平米（国. 県. ㊋市）
公道分施工業者	㈱ 昭 和 設 備
屋内分施工業者	㈱ 昭 和 設 備

摘要

〔横断図面〕



区分	金額	打込	追加還付金額	打込
工事金	※市記入			
分担金	※市記入			

注意事項

課長	係長	設計審査
		水道 29. 4. − 3 ○○

設計審査許可日

許可番号

整理番号 112　許可番号 20 − 56 ※市記入

永年保存	給水台帳	水栓番号	第 12345 号
第 号（より）分岐			

装置場所	知立市 広見 3丁目 3 番地	変更	知立市	番地
所有者	知 立 太 郎	住所	知立市 広見 3丁目 1	番地
代理人	※申請者が市外の場合は記入すること	住所	知立市	番地
保管者		住所	知立市	番地

種目／区別	設計 形状寸法	設計 員数	設計 単価	設計 金額	変更 形状寸法	変更 員数	変更 単価	変更 金額
給水管	PEPφ20	3.5	イノアック					
分水材料	サドル VPφ75×20	1	前田バルブ					
							変	
継手類	ﾛﾝｸﾞﾍﾞﾝﾄ φ20	1	前田バルブ					
							更	
止水栓	丙止水栓 φ20	1	前田バルブ				な	
その他	埋設シート	3.0	サンエスゴム				し	
	マーカー	1	フジテコム					
	メーターBox	1	前澤化成					

・工事野帳と同様に記入。
・使用メーカー名を記入。

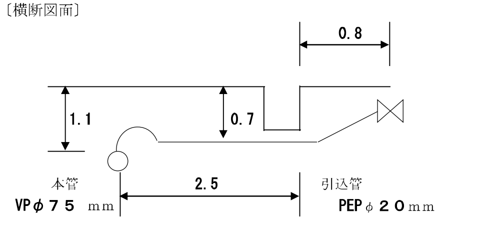
使用者	知 立 太 郎	職業	会社員
申込	H.29 年 3月 15日	用途	㊎家 営. 湯. 官. 工. 臨.
設計	H.29 年 4月 1日		
設計審査	H.29 年 4月 3日	人口	4
納付	H.29 年 4月 13日		
屋内工事着手	H.29 年 4月 15日	支栓	9
屋内工事完了	H.29 年 6月 15日		
公道工事着手	H.29 年 6月 15日	浴槽	
公道工事完了	H.29 年 6月 15日		
完了検査	年 月 日	浄化槽	
	年 月 日		

各項目の日付を記入。

舗装道路修理	3.0 平米（国. 県. ㊋市）
公道分施工業者	㈱ 昭 和 設 備
屋内分施工業者	㈱ 昭 和 設 備

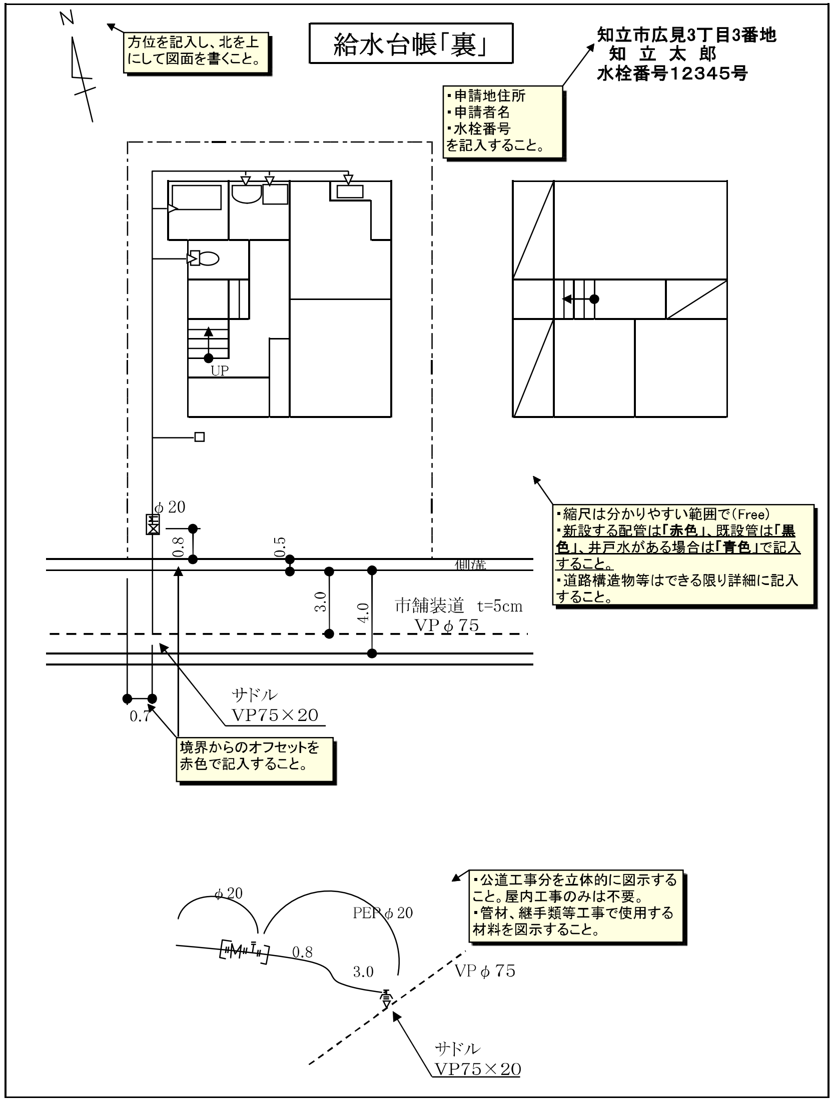
摘要

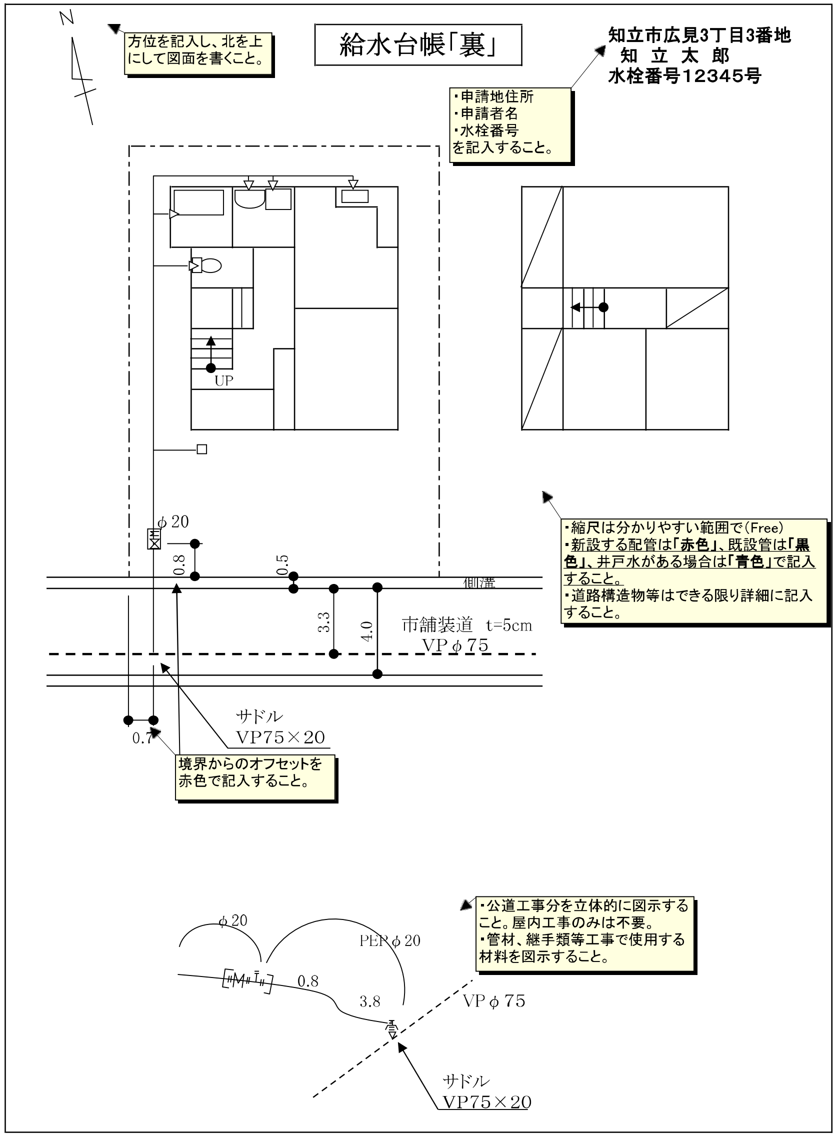
〔横断図面〕



区分	金額	打込	追加還付金額	打込
工事金	※市記入			
分担金	※市記入			

注意事項


N
方位を記入し、北を上にして図面を書くこと。
給水台帳「裏」
知立市広見3丁目3番地
知 立 太 郎
水栓番号12345号
・申請地住所
・申請者名
・水栓番号
を記入すること。
UP
φ20
0.8
0.5
側溝
3.0
4.0
市舗装道 t=5cm
VPφ75
サドル
VP75×20
0.7
境界からのオフセットを赤色で記入すること。
・縮尺は分かりやすい範囲で(Free)
・新設する配管は「赤色」、既設管は「黒色」、井戸水がある場合は「青色」で記入すること。
・道路構造物等はできる限り詳細に記入すること。
・公道工事分を立体的に図示すること。屋内工事のみは不要。
・管材、継手類等工事で使用する材料を図示すること。
φ20
PEPφ20
0.8
3.0
VPφ75
サドル
VP75×20


N
方位を記入し、北を上にして図面を書くこと。
給水台帳「裏」
知立市広見3丁目3番地
知 立 太 郎
水栓番号12345号
・申請地住所
・申請者名
・水栓番号
を記入すること。
UP
φ20
0.8
0.5
側溝
3.3
4.0
市舗装道 t=5cm
VPφ75
サドル
VP75×20
0.7
境界からのオフセットを赤色で記入すること。
・縮尺は分かりやすい範囲で(Free)
・新設する配管は「赤色」、既設管は「黒色」、井戸水がある場合は「青色」で記入すること。
・道路構造物等はできる限り詳細に記入すること。
・公道工事分を立体的に図示すること。屋内工事のみは不要。
・管材、継手類等工事で使用する材料を図示すること。
φ20
PEPφ20
0.8
3.8
VPφ75
サドル
VP75×20

工事の種別、内容等を記入。

給水工事野帳

※市記入

整理番号　許可番号

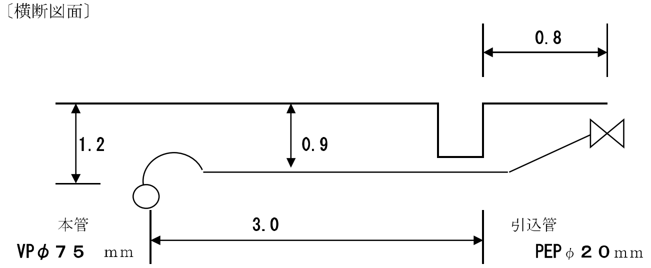
現場野帳

（ 公道工事 屋内工事 ）	市道舗装　下水同時 臨時給水	施工業者名	㈱昭和設備
町　名	広　見　~~町~~	水栓番号	第　12345　号
着　手	令和7年　4月　15日	竣　工	令和7年　6月16日
装置場所	知立市　広　見　3丁目　3　番地		
請求者	知　立　太　郎	使用者	知　立　太　郎
現住所	知立市　広見　3丁目　1　番地	職　業	会社員
開　栓（丸囲み）／閉　栓	用　途	家　事　用	支　栓　9　個

種目 区別	設計 形状寸法	設計 員数	設計 メーカー名	種目 区別	変更 形状寸法	変更 員数	変更 メーカー名
給　水　管	PEPφ20	3.8	イノアック	給　水　管			
分　水　材　料	サドル VPφ75×20	1	前田バルブ	分　水　材　料			
継　手　類	ロングベンド φ20	1	前田バルブ	継　手　類			
止　水　栓	丙止水栓 φ20	1	前田バルブ	止　水　栓			
そ　の　他	埋設シート	3.0	サンエスゴム	そ　の　他			
	マーカー	1	フジテコム				
	メーターBox	1	前澤化成				

・屋内工事のみの場合は、**「屋内工事」**と記入。
・使用メーカー名を記入。

〔横断図面〕



工事の種別、内容等を記入。

給水工事野帳

※市記入

整理番号　許可番号

現場野帳

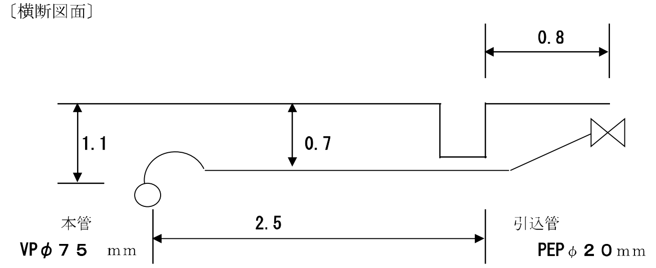
（ 公道工事 屋内工事 ）	市道舗装　下水同時 臨時給水	施工業者名	㈱昭和設備
町　名	広　見　~~町~~	水栓番号	第　12345　号
着　手	平成29年　4月　1日	竣　工	平成29年　6月30日
装置場所	知立市　広　見　3丁目　3　番地		
請求者	知　立　太　郎	使用者	知　立　太　郎
現住所	知立市　広見　3丁目　1　番地	職　業	会社員
開　栓（丸囲み）／閉　栓	用　途	家　事　用	支　栓　9　個

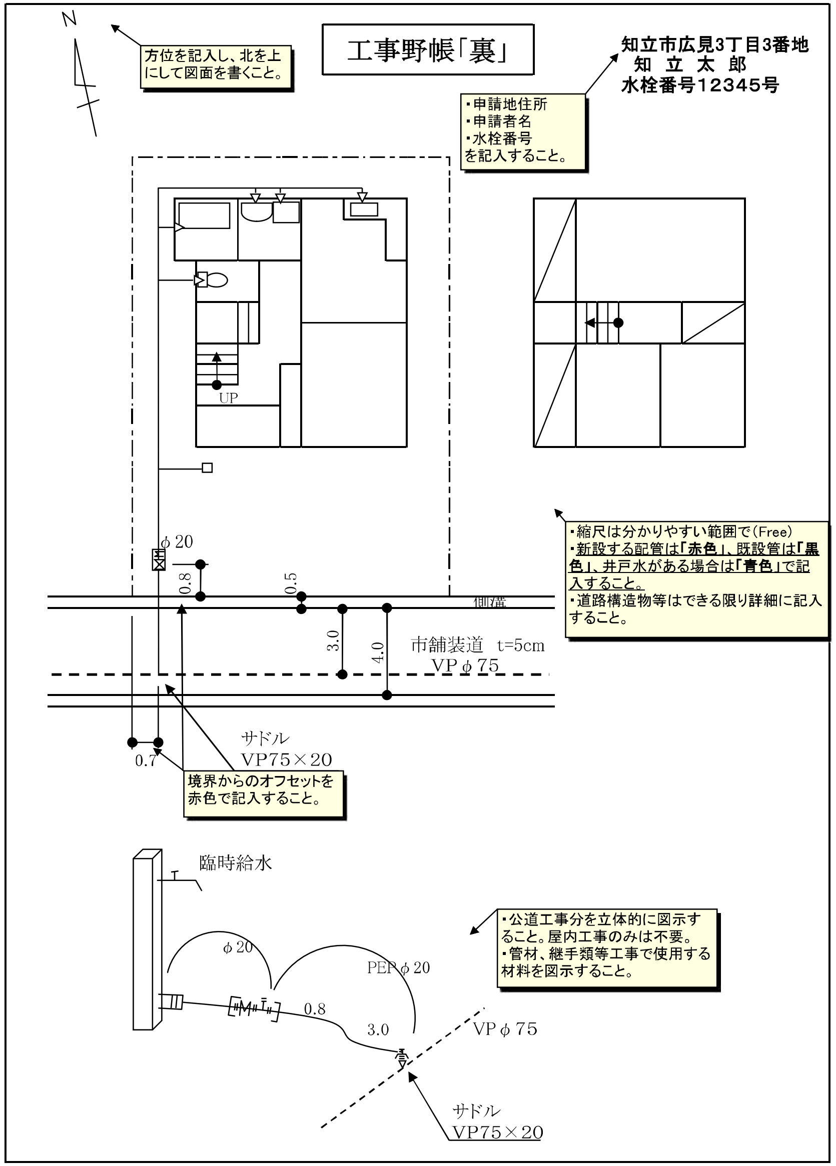
種目 区別	設計 形状寸法	設計 員数	設計 単価	設計 金額	種目 区別	変更 形状寸法	変更 員数	変更 単価	変更 金額
給水管	PEPφ20	3.5	イノアック		給水管				
分水材料	サドル VPφ75×20	1	前田バルブ		分水材料			変	
継手類	ロングベンド φ20	1	前田バルブ		継手類			更	
止水栓	丙止水栓 φ20	1	前田バルブ		止水栓			な	
その他	埋設シート	3.0	サンエスゴム		その他			し	
	マーカー	1	フジテコム						
	メーターBox	1	前澤化成						

・屋内工事のみの場合は、**「屋内工事」**と記入。
・使用メーカー名を記入。

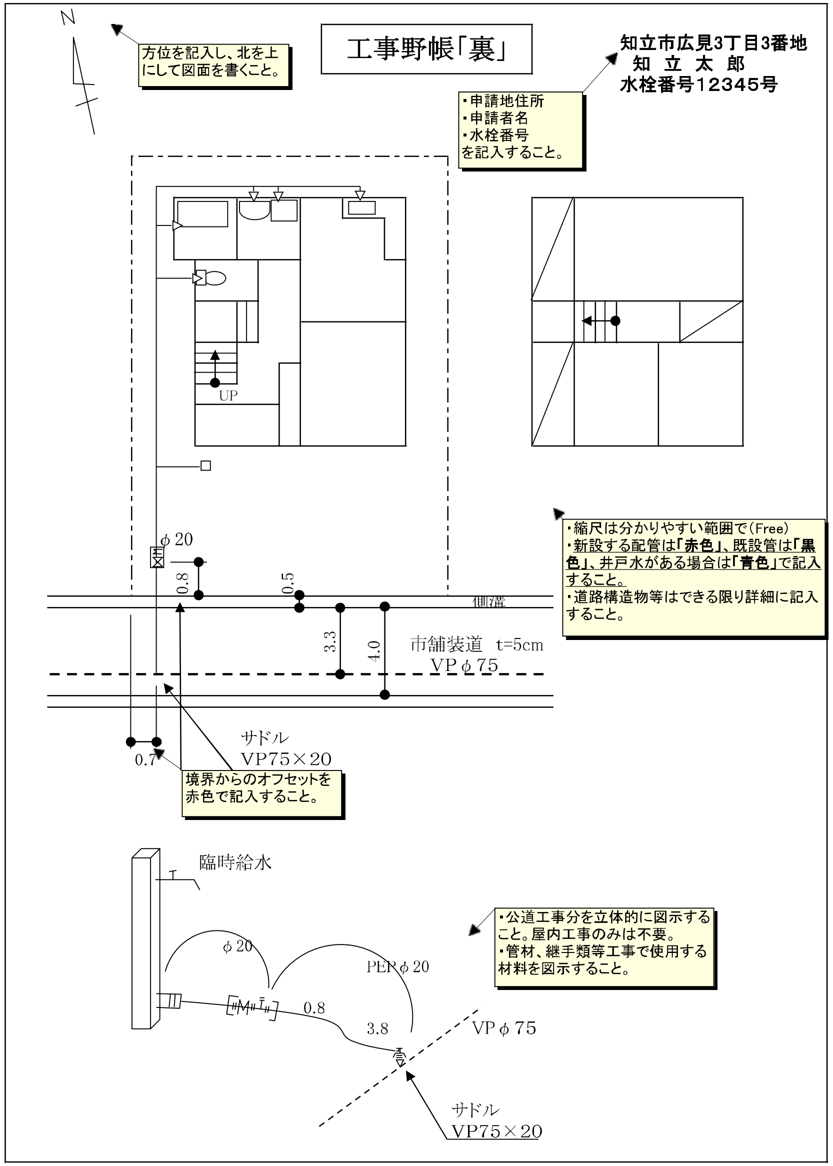
変更がない場合は、**「変更なし」**と記入。

〔横断図面〕





工事野帳「裏」
知立市広見3丁目3番地
知 立 太 郎
水栓番号12345号
方位を記入し、北を上
にして図面を書くこと。
・申請地住所
・申請者名
・水栓番号
を記入すること。
N
UP
φ20
0.8
0.5
側溝
3.0
4.0
市舗装道 t=5cm
VPφ75
0.7
サドル
VP75×20
・縮尺は分かりやすい範囲で(Free)
・新設する配管は「赤色」、既設管は「黒色」、井戸水がある場合は「青色」で記入すること。
・道路構造物等はできる限り詳細に記入すること。
境界からのオフセットを
赤色で記入すること。
臨時給水
・公道工事分を立体的に図示すること。屋内工事のみは不要。
・管材、継手類等工事で使用する材料を図示すること。
φ20
PEPφ20
0.8
3.0
VPφ75
サドル
VP75×20



工事野帳「裏」
知立市広見3丁目3番地
知 立 太 郎
水栓番号12345号
方位を記入し、北を上
にして図面を書くこと。
・申請地住所
・申請者名
・水栓番号
を記入すること。
N
UP
φ20
0.8
0.5
側溝
3.3
4.0
市舗装道 t=5cm
VPφ75
0.7
サドル
VP75×20
・縮尺は分かりやすい範囲で(Free)
・新設する配管は「赤色」、既設管は「黒色」、井戸水がある場合は「青色」で記入すること。
・道路構造物等はできる限り詳細に記入すること。
境界からのオフセットを
赤色で記入すること。
臨時給水
・公道工事分を立体的に図示すること。屋内工事のみは不要。
・管材、継手類等工事で使用する材料を図示すること。
φ20
PEPφ20
0.8
3.8
VPφ75
サドル
VP75×20

課　長	係　長	担　当

処理	業務受領	メーター出庫伝票	検針台帳作成	前受金令書	給水申込台帳	受　付

臨　時　給　水　申　請　書

受付No.＿＿＿＿＿

申請場所	知立市　広見３丁目３　番地		
	氏　名	用　途	人　員
所有者	知　立　太　郎	工　事　用	
使用者	○　×　建　設　㈱		
事由	工事利用のため		
臨時給水料金請求先	住　所	〒 472 － 0001　ＴＥＬ (0566) 83-1234 ○×市○×町１－２－３	
	氏　名	○　×　建　設　㈱	

郵便番号は、必ず記入すること。

上記場所において臨時給水を受けたく申請いたします。

令和　７年　５月　２３日

届出日を記入すること。

住　所　知立市広見３丁目１番地

氏　名　知　立　太　郎

知立水道事業　殿

メーター口径を記入すること。

整理No.			受　付	令和　年　月　日
量水器	口　径	φ　20　mm	番　号	第　　号
給水開始希望日	令和　７年　５月　２９日		業者名	
摘要				

臨時開始日を記入すること。

課　長	係　長	担　当

処理	業務受領	メーター出庫伝票	検針台帳作成	前受金令書	給水申込台帳	受　付

臨　時　給　水　申　請　書

受付No.＿＿＿＿＿

申請場所	知立市　広見３丁目３　番地		
	氏　名	用　途	人　員
所有者	知　立　太　郎	工　事　用	
使用者	○　×　建　設　㈱		
事由	工事利用のため		
臨時給水期間中の料金請求先	住　所	〒 472 － 0001　ＴＥＬ (0566) 83 - 1234 ○×市○×町１－２－３	
＊左記へ納付書を送付させていただきます	氏　名	○　×　建　設　㈱	

郵便番号は、必ず記入すること。

上記場所において臨時給水を受けたく申請いたします。

平成　２９年　４月　１日

届出日を記入すること。

申請者の住所・氏名を記入。印鑑必要。

住　所　知立市広見３丁目１番地

氏　名　知　立　太　郎　㊞

知立市水道事業　殿

メーター口径を記入すること。

整理No.			受　付	平成　年　月　日
量水器	口　径	φ　20　mm	番　号	第　　号
給水開始希望日	平成　29　年　4月　4日		業者名	
摘要				

臨給開始日を記入すること。

課　長	係　長	担　当

処理	マスター変更	検針台帳変更	料金精算	還付通知書	給水申込台帳	受　付

臨　時　給　水　停　止　届

受付No.

申　請　場　所	知立市　広見３丁目３　番地			
種　別　番　号	水　栓　第　12345　号			
所　有　者	氏　名	用　途	人　員	
	知　立　太　郎	工　事　用		
使　用　者	○　×　建　設　㈱			
事　由	工事完了のため			

上記場所の臨時給水については、令和　○年　6月　18日付けをもって停止してください。

届出日以降で、閉栓日を記入すること。

令和　7年　6月　16日

届出日を記入すること。

住　所　知立市広見３丁目１番地

氏　名　知　立　太　郎

知立水道事業　殿

メーター口径、メーター番号を記入すること。

整　理　No.			受　付	令和　年　月　日		
量　水　器	口　径	φ　20㎜	メーター番　号	第　123456　号	指　針	㎥
開　栓　年　月　日	年　月　日		取扱者			
開　始　年　月　日	令和　年　月　日		基本料金	従量料金	水道料金	
料金計算取扱者			円	円	円	
摘　要						

課　長	係　長	担　当

処理	マスター変更	検針台帳変更	料金精算	還付通知書	給水申込台帳	受　付

臨　時　給　水　停　止　届

受付No.

申　請　場　所	知立市　広見３丁目３　番地			
種　別　番　号	水栓番号　第　12345　号			
所　有　者	氏　名	用　途	人　員	
	知　立　太　郎	工　事　用		
使　用　者	○　×　建　設　㈱			
事　由	工事完了のため			
完了後の料金請求方法（不明な場合は未記入）	請求先住所 ☑ 申請場所と同じ ☐ 下記送付先 住所　〒		請求者名 知　立　太　郎	連絡先電話 （○○○○）□□-××××

上記場所の臨時給水については、平成　２９年　６月　１８日　付けをもって停止してください。

届出日以降で、閉栓日を記入すること。

平成　２９年　６月　１５日

届出日を記入すること。

住　所　知立市広見３丁目１番地

氏　名　知　立　太　郎　㊞

メーター番号、メーター口径を記入すること。

知立市水道事業　殿

受付年月日	平成　年　月　日		整　理　No.		
量　水　器	メーター番　号	第　666666　号	口　径	φ　20　㎜	
検針年月日	平成　年　月　日	指　針	㎥	検針者	
摘　要					